



子育てチャンネル

親子の安心の居場所

私が東川町地域子育て支援に関わるようになってから今年で15年目になります。親子が楽しく過ごせるように、また親子で遊びに來たいと思える場所になるよう、そして親子の仲間づくりができるように、親子に寄り添いながら仕事をしてきました。

支援センター開設時から多くの親子に利用していただきました。沖縄や関西から來たお母さん、パン作り、小物作りが上手なお母さん、双子の子育てをしているお母さん…。子育ては大変だけれど、一人ひとりのお母さんは個性があり、パワフルで前向きに子育てを頑張っていました。

先日、札幌に向かう電車でアジアから來たと思われる旅行者の家族が乗ってきて相席しました。私の隣の席が空いていて、杖を突いたお婆ちゃんが軽く会

釈をして座りました。お婆ちゃんの前のお母さん、通路を挟んで女の子が座り、その前の席にお父さんとお爺ちゃんが座りました。

3〜4歳くらいの女の子が何度もお母さんに話しかけ、お母さんもその都度女の子の話を聞き対応していました。途中、お爺ちゃんがビニール袋を女の子に渡しました。中には、あめやお菓

子などが入っていました。女の子が静かになったので「寝たのかな？」と思つて見てみると、引き出した小テーブル上に



タブレットを置き、それをじーっと見ていました。国が変わつても、「子どもを中心に大切にしながら子育てをしているんだなあ」と微笑ましく感じました。

同時にタブレットを使う女の子には驚きました。短時間の電車の中でしたが、昔から子どもは大切だと、時代ととも

に便利になっていく子育てに出合えた出来事でした。今は子育てにさまざまなサービスや便利なものも増えてきています。でも私たちは、時代が

変わつてもどの子どもも平等に愛おしく思い、子どもたちの言葉やサインにはしっかりと向き合い、みんなが子どもを大切にしなければならぬ、と思つて

います。忙しい日々を過ごしているお父さん、お母さん、子どもの成長はあつという間です。『今』の子育てを大切に、そして子どもと遊び、いっぱいお話しをしてください。この自然がいっぱいある東川で、子どもが安心して安全に過ごせる居場所づくりや親子関係づくり、そして保護者に寄り添った子育てを築いていけたらいいなあ、と思つて

子育て支援センター

坂東ひとみ